

は ま な す

〒098-1601 興部町字興部元町 電話 0158-82-2303 FAX 0158-82-2672
年間主題 「 愛し合う元気な仲間 (ともだち・自然・動物・資源を大切にしよう) 」

新型コロナウイルス感染予防の為 春休み開始まで臨時休園を延期します

3月聖句

『 誰に対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で良いことを行いましょう
すべての人と平和に暮らしましょう 』 (ローマ信徒への手紙13章13節)

【巻頭言】 君の物語 (詞・曲:小山哲夫 編曲:小山童史 歌:Mina Mix:Elegant waves)園長 小山哲夫

年長「ひまわり組」24名が、希望に胸を膨らませて幼稚園を旅立つ時となりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染が日本・北海道、そして全世界に広がり、2月27日から感染予防の為臨時休園となりましたが、先日メールでお知らせしたように、感染予防の為に臨時休園を春休み開始まで延期しました。とても残念ですが、卒園式は予定日時で内容を短縮し、卒園児・卒園児保護者(2人まで)・教職員で行います。しかし、現在の感染状況が悪化した場合は、また対応を考えなければなりません。卒園児のみんな本当にごめんなさい。そして園児・保護者の皆様には大変ご苦勞とご心配をおかけしますが、今回の対応についてご理解ご協力をお願いいたします。

今年も、子ども達と過ごした貴重な日々を振り返り、卒園児へ贈る歌「君の物語」が完成しました。夏ごろから元気に送り出せるような曲のイメージを模索していましたが、歌詞が前に作った歌に似てしまったりしてなかなか纏まらず、ぎりぎりまで悩みました。1月後半になってやっと曲と歌詞がまとまり始めた終盤に右足腰が「带状疱疹」になってしまい、今まで経験したことのない激痛で、もう少し色々手を加えたかった曲ですが、童史先生に曲の構成・メロディーなどのアドバイスをもらい、昨年同様にElegant wavesの渡邊さんに手直しMixしていただき、ボーカルも昨年と同じminaさんが歌とコーラスを入れて頂き命が吹き込まれたように完成しました。

- 1、時間(とき)を忘れて 砂場にしゃがんで 黄色い帽子が ふわり 揺てたね
庭の小さな 山に駆け上り 空を指さし 夢飛ばす
(※) ほら ゆっくり そおゆっくり 朝が来れば 笑顔に会える
大好きな友達 輝くこの星 命がつないだ めぐり 会えた 奇跡
まだ絵には描けない 希望の未来へ 今すぐ始まる君の君の物語
- 2、小さいパンでも みんなで分けると 沈む心に 愛が溢れるね
乾いた大地も 幸せの種が 碧(あお) いふるさと美しく
(※) 繰り返し (※) 繰り返し 愛が繋がる 物語



曲のタイトルは、人間の想いを超えて神様がいつまでも見守って下さる中で、友達と支え合い、ひとり一人の新しい人生(物語)が優しさに包まれることを祈りながら考えました。

私にとって今年の卒園は、ご承知のように満3歳から年中まで一緒に生活したU君の卒園ということもあり、特別な感慨があります。今年度は瞳先生と仲良く格闘?しながら、私と一緒にいた期間以上に成長してくれました。自分の力不足?と思いながらU君を横目で見ながら、この一年の成長を感謝していました。U君と一緒に過ごし、どれだけU君の笑顔に心を癒されたかわかりません。本当に天使のような笑顔にどう答えたらいいのか、いろいろ調べ、学び直し、たくさんの宝物をもらいました。その学びが他の子達・幼稚園全体の保育内容に少しづつ反映でき、感謝がいっぱいです。心から「ありがとう」と伝えたいと思います。

卒園記念DVDを作りながら、笑顔いっぱいの子供達をたくさん見つけました。遠足、運動会、楽しかった「お泊り会」、そして、クリスマス祝会ではとても難しいテーマの「分かち合い」劇を見事に発表しました。戦争と平和、そして飢餓に苦しむ食糧問題、そして分かち合う心の大切さを心に刻んでくれたと思います。曲の中にある「小さいパンでも みんなで分けると 沈む心に愛が溢れるね」は、細王役のS君が「王様の最後の食べ物なのに いいんですか?」と言われて、「少しだけど、皆で分けて食べなさい」「お腹すいているのは誰でも一緒だ。食べなさい」と演じてくれた優しさを歌詞にしました。U君への優しさ、小さな喧嘩やトラブルを乗り越え作り上げたひまわり組の優しい仲間、今年の卒園児を象徴するような歌詞だと思います。

まだ、収束の道のりが見えない新型コロナウイルス感染症、そして事実を覆い隠し身勝手に進めようとする大人社会の不穏さ、近隣国との緊張関係、経済優先で何事も進んでいる世界の在り方、ゲーム依存症の低年齢層への広がり、子ども達の将来を想うと、とても不安になります。

心が輝く子ども達は、心を惑わすたくさんの物や出来事に会おうと思います。そんな時、劇「分かち合い」の心を思い出し、互いに認め合い、支え合って「笑顔」で生きることが大切であること思い出してほしいと切に願っています。きっと、笑顔で生きる子ども達が新しい未来を拓いてくれると信じています。

いつも明るく私たち教師に向かい合ってくれた子ども達、そして保護者の皆さんに心より感謝します。「笑顔がまぶしい」卒園児へシャローム(神様の平安があるように)を贈ります。ありがとうございました。